

# FUJITSU Software NetCOBOL

## インターネットセキュリティに関する注意事項

---

NetCOBOL シリーズを使用した場合の、インターネットセキュリティに関する注意事項は、以下のとおりです。

- NetCOBOL シリーズの開発環境はファイアウォール内で使用してください(または、インターネットに接続されていない環境で使用してください)。
- NetCOBOL シリーズを使用して、インターネット対応のアプリケーションを作成することができます。(注 1)
- Web 連携機能(COBOL Web サブルーチン)・MeFt/Web 機能を使用した Web アプリケーションはファイアウォール越しに使用できます。(注 1)
- インターネットセキュリティは、NetCOBOL シリーズで作成したアプリケーション、およびその運用環境全体の適切な設定によって、確保される必要があります。(注 2)

**注1)** NetCOBOL シリーズを使用して作成した Web アプリケーションに対して、以下のテストを行っています。

- バッファオーバーフロー等を利用したクラッキング行為に対する、Web アプリケーションの安全性
- Web アプリケーションのファイアウォール越しでの使用 V11.0 では、使用する Microsoft 社製リンカの変更により、ASCII 範囲外の文字を含む外部名を持つプログラムおよびこれを呼び出すプログラムはリコンパイルが必要になる場合があります。

**注2)** NetCOBOL シリーズで作成したアプリケーションを動作させる場合のセキュリティについて、以下のような検討・環境設定が必要です。

1. 使用するネットワーク環境について、インターネット接続も含め、セキュリティの基準・内容を、システム管理者・ネットワーク管理者などセキュリティの専門家に確認してください。

その際、NetCOBOL シリーズと直接関係する部分に閉じない広い範囲で、以下の観点を含めて確認してください。

- どのようなサービスやデータにアクセスを許しているか(http・ftp、サーバごとの許可範囲など)
- アクセスを許している範囲(社内・社外など)
- 許されているアクセスの種類(参照・更新・実行など)
- セキュリティホールを塞ぐためのパッチ・障害修正の適用

2. NetCOBOL シリーズのアプリケーションと直接関係するサービスについて、セキュリティの専門家と相談の上、適切な環境設定をしてください。

たとえば、WWW サーバ等の提供するサービスにおいて、以下の観点を含め、適切な環境設定をしてください。

- どのようなサービスやデータにアクセスを許すか(http・CGI、サーバごとの許可範囲など)

- アクセスを許す範囲(社内・社外など)
- 許可するアクセスの種類(参照・更新・実行など)

3. NetCOBOL シリーズで作成したアプリケーションの安全性についても確認してください。

たとえば、インターネット経由で使用されるアプリケーションの場合、インターネット経由で取得した入力データを使用してアプリケーションが実行されます。故意または不注意で、それらの入力データが本来の目的に沿わない内容をもつ場合でも、アプリケーションが重要なデータを破壊したり、機密情報を漏洩することがないかを確認してください。